

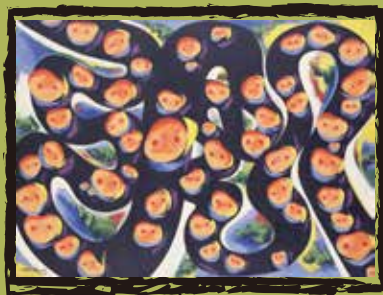
講演会

「美術館 × 認知症」 アートリップの概要と効果」

「アートリップ」とは、「アート」と「トリップ」を組み合わせた造語です。

対話型アートプログラム「アートリップ」は、グループで美術作品を見て、進行役のアートコンダクターの質問に答えながら、参加者が感じたことを自由に発言し、みんなで絵の世界を味わい、共有するプログラムです。

認知症のある方やそのご家族、介護者の方を対象とする対話型鑑賞プログラム「アートリップ」を、各地の美術館・福祉施設で実践されている林容子さんに、これまでの事例を踏まえたお話を伺います。



12月17日(日) 13:30 開場 14:00 開演

対象

認知症当事者とそのご家族、介助者や施設職員など
ご興味のある方どなたでも

場所

ガイダンスホール

定員

50 席

申込

不要、当日受付

料金

無料

講師

林容子（一般社団法人アーツアライブ代表理事）

国内外のアートプロジェクトの企画運営に携わった後、一般社団法人アーツアライブを立ち上げ、認知症当事者を含む高齢者などを対象としたアートプログラムや、アートを活用した企業研修を行う。



Supported by
日本財団
THE NIPPON
FOUNDATION

川崎市 岡本太郎美術館

〒214-0032 川崎市多摩区枳形7-1-5 生田緑地内
【TEL】 044-900-9898 【HP】 <https://www.taromuseum.jp/>



HP



Facebook



X (Twitter)



Instagram

常設展 「岡本太郎とスポーツ」
企画展 「TARO 賞の作家Ⅲ 境界を越えて」
観覧料 一般 1000 円、高・大学生・65 歳以上 800 円